

吉田富三博士のあゆみ

年	代	で	き	ご	と
一九〇三	(明治36)	○二月十日、福島県石川郡浅川村に父喜一郎、母ナヲの長男として生まれる。			
一九〇九	(明治42)	○浅川小学校に入学する。			
一九一五	(大正4)	○浅川小学校を卒業し、東京の錦城中学校に入学する。			
一九二〇	(大正9)	○第一高等学校に入学する。(現在の東京大学)			
一九二三	(大正12)	○東京帝国大学医学部(現在の東京大学医学部)に入学する。			
一九二七	(昭和2)	○東京帝国大学医学部を卒業し、医師の資格を得る。			
一九二九	(昭和4)	○病理学者の道を歩む。			
一九三二	(昭和7)	○佐々木研究所に入門する。			
一九三五	(昭和10)	○ラットにアゾ化合物を食べさせることによって肝臓ガンがで きることを発見する。			
一九三六	(昭和11)	○佐々木研究所をやめ、長崎医科大学助教授となる。			
一九三八	(昭和13)	○今までの研究が認められ、山極賞が贈られる。			
一九四三	(昭和18)	○服部報恩会賞を受賞する。			
一九四四	(昭和19)	○病理学を研究するため、ドイツのベルリン大学へ留学する。			
一九四四	(昭和19)	○帝国学士院から恩賜賞をさずけられる。			
一九四八	(昭和23)	○医学博士の学位を受ける。			
		○留学先のドイツから帰国する。			
		○長崎医科大学教授となる。			
		○ラットを使って腹水肉腫を発見する。			
		○東北帝国大学教授となる。			
		○医師の国家試験委員になる。			
		○腹水肉腫を「吉田肉腫」と呼ぶことになる。			